

# HP Anywhere

Windows

ソフトウェアバージョン: 10.10

## 開発者のためのHP Anywhereアーキテクチャー

ドキュメントリリース日: 2013年11月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2013年11月 (英語版)



## ご注意

### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2012 - 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

# ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passportのログインページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

# サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

[http://h20230.www2.hp.com/new\\_access\\_levels.jsp](http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp)

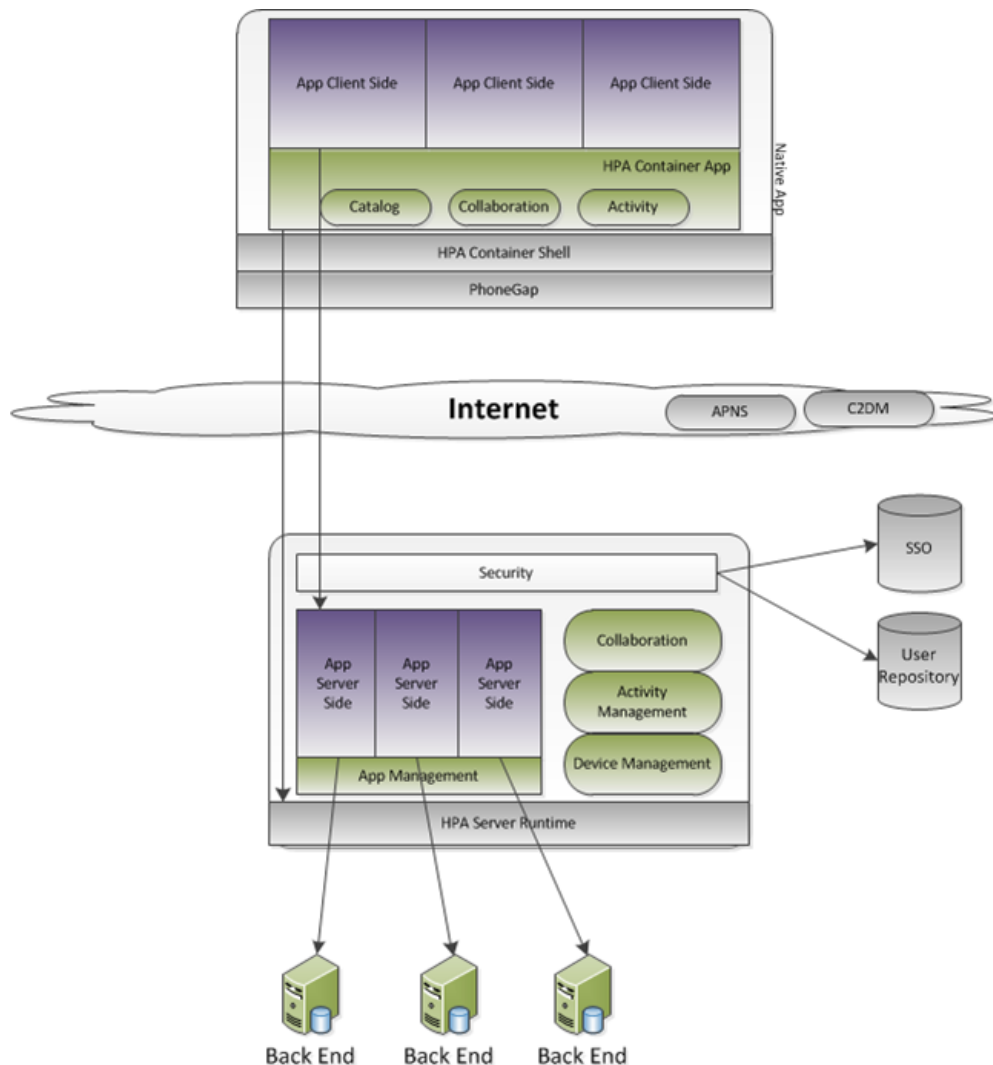
# 目次

開発者のためのHP Anywhereアーキテクチャー .....	1
目次 .....	5
開発者のためのHP Anywhereアーキテクチャー .....	6
クライアント側 .....	7
クラウドサービス .....	7
サーバー側 .....	8
HP Anywhereフロー .....	9

# 開発者のためのHP Anywhereアーキテクチャー

HP Anywhereは、次のような機能を持つコンテナベースのプラットフォームです。

- 最新型のクライアント側HTML5 SPA (シングルページアプリ) の開発。アプリの開発には、デバイスのネイティブ機能 (カメラ、GPSなど) を公開するHP AnywhereクライアントJavaScript APIが使用できます。
- クライアント側と企業バックエンドを接続するサーバー側プロキシのJavaでの開発。HP Anywhereのサーバー側APIを使用して、セキュリティ、コラボレーション、アクティビティサービスにアクセスできます。



HP Anywhereのアーキテクチャーは以下から構成されています。

## クライアント側

HP Anywhereは、AndroidおよびiOSデバイス用のクロスフォームファクターのネイティブアプリケーションです。これらのすべての組み合わせで動作するためにPhoneGapを利用しています。HP Anywhereの一部であるHP Anywhereコンテナシェルは、インターネット経由でHP Anywhereサーバーからロードされたコンテンツを実行します。

HP Anywhereコンテナアプリケーションには、HP Anywhereアプリケーション (ナビゲーション、[マイアプリ] 画面、カタログ、コラボレーション領域などを含む) が含まれます。

ユーザーがアプリを開くと、HP Anywhereコンテナアプリケーションはそのアプリのクライアント側を起動し、含まれるiframe内部でアプリを開きます。

アプリの開発には、任意のWeb UIフレームワークが使用できます。各iframeには、アプリのサーバー側の相対パスを指すソースURLがあります。

アプリのユーザーインターフェイスが開くと、含まれるAPIがアプリのバックエンドへのREST呼び出しを実行します。

**PhoneGapの機能は、デバイスのネイティブ機能のアクセスに使用できます。**

PhoneGapとHP Anywhereを統合すると、デバイスのネイティブ機能をアプリで使用できます。PhoneGap APIを使用するには、接頭辞のwindow.parentをオブジェクトに追加します。たとえば、デバイスのネイティブカメラには、次のコードを使用してアクセスできます。

```
window.parent.navigator.camera.getPicture(onSuccess, onFail, { quality: 50,
destinationType:window.parent.Camera.DestinationType.FILE_URI });
function onSuccess(imageURI) {
var image = document.getElementById('myImage');
image.src = imageURI;
}
function onFail(message) {
alert('Failed because:' + message);
}
```

## クラウドサービス

HP Anywhereは、APNS (Apple Push Notification Service) とC2DM (Google Cloud 2 Device Messaging) を使用して、クライアントデバイスに通知をプッシュします。

## サーバー側

サーバー側のWebコンテナ (Tomcat) は、HP Anywhereランタイムサーバーとアプリの両方を実行します。

HP Anywhereサーバー側は次の機能进行处理します。

- セキュリティ管理
- アプリ管理
- コラボレーション
- HP Anywhereアプリケーション
- アプリが消費するその他のサービス

### アプリサーバー側

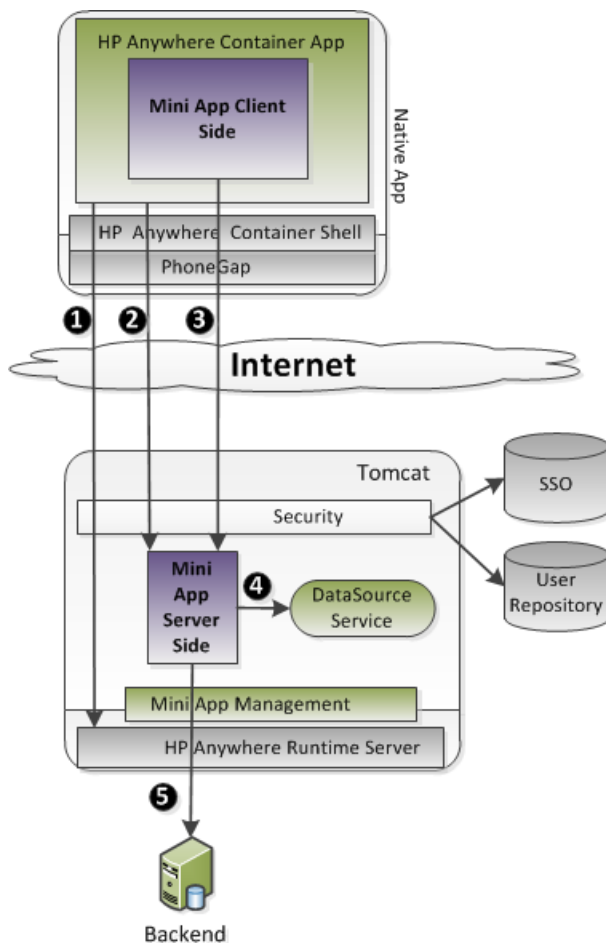
アプリ全体が1つのWARファイルに含まれます。

- 静的コンテンツ
- サービス。これはバックエンドに対するプロキシとして動作し、データ (要求と応答) をリアルタイムで処理します。



## HP Anywhereフロー

次の図は、HP Anywhereのフローの概要を示しています。



- ① HP Anywhereコンテナアプリケーションが、セキュリティトークンを使用してHP Anywhereランタイムサーバーにログインします。SSOまたは基本認証を使用して、承認が提供されます。
- ② HP Anywhereクライアントがframeを開き、アプリサーバーから静的コンテンツをロードします。
- ③ アプリクライアントがサーバー側バックエンドを呼び出します。
- ④ アプリサーバーが、データソースサービスを使用してバックエンドアドレスを解決します。
- ⑤ アプリサーバーが、バックエンドサーバーに対する実際の呼び出しを実行します。

